



▲五郎丸選手に坂東野菜を手渡す
こども観光大使

この企画は、昨年ふるさと観光大使に任命されたこども観光大使育成塾長である平林幸恵さんの考案による、坂東市こども観光大使の突撃ちびソム、すごい人に聞こう！の企画第1弾として行われました。こども観光大使が子ども

ビーチ部上井草グランドにおいて、坂東市こども観光大使（ちびっこソムリエ）たちが、日本ラグビー界を牽引する憧れの五郎丸歩選手に、市名産のネギと白菜、トマトを持って突撃インタビューを行いました。

こども観光大使

ラグビー日本代表の五郎丸歩選手に突撃インタビュー

もながらの目線で、五郎丸選手の素顔に迫り、勝利の秘訣はもとより、知られざる智恵を教えてもらうなど、元気とパワーをPRしてきました。



▲五郎丸選手と一緒に坂東野菜のPR

市民のみなさんが環境問題を日常の身近な問題として受け止め、エネルギーの消費量やごみの排出量の削減など、環境保全に対する意識を高めていくことが大切です。そのため、市では「坂東市環境基本条例」を制定し、条例に定める理念を実現するため「坂東市環境基本計画」を策定しました。さらに、昨年1月には「菅生沼の自然景観保全条例」が施行されました。この条例は、菅生沼の自然を開発していく子どもたちのことで

市の歴史や活動を学習して魅力を発見し、ちびっこ（坂東ソムリエ（坂東市こども観光大使））となつて、その魅力を市内外に発信したり、各事業・イベントに参加して市の魅力をPRしていく子どもたちのことで

**豊かな水と
緑の恵みを
未来へつなぐ**

坂東市長 吉原英一



まちづくり

たもので、菅生沼一帯の貴重な自然環境や良好な景観を保全し、将来の世代に継承していくことを明記しています。

やネットを設置するなど、不法投棄をさせない環境づくりが大切です。

地球温暖化は、気候の変化に重大な影響を与え、集中豪雨や記録的猛暑といった異常気象が発生し、深刻な問題となっています。市では、防犯灯のLED化を進めるとともにグリーンカーテン用の苗をホコテン会場で配布し、事業所や学校などには、グリーンカーテンの設置やウォームビーズ・クールビズの推進を呼びかけるなどCO₂の削減に取り組んでいます。

不法投棄対策では、早期発見が重要であることから、区長のみなさんに「環境監視員」をお願いし、監視の強化を図っています。不法投棄防止看板の設置やパトロールなどは継続的に行っていますが、それだけでは不法投棄はなくなりません。不法投棄だけではなくごみの散乱を防ぐためにも、地域のみなさんが目を光らせ、土地所有者のかたは防護柵、

放射能対策では、水道水や学校給食用食材、農産物などの放射性物質の測定を行うとともに、市内で測定した放射線量率を毎日ホームページに掲載しています。今後も安全・安心な生活環境の保全に努めてまいりますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。